

事業番号	212
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	快適で清潔なまちづくり推進事業						担当部	環境交通部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	廃棄物対策課							
	事業期間	平成20年度			～		平成30年度以降		担当係	環境美化係						
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		3 地域の環境美化を推進する									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	8		目	1		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市快適で清潔なまちづくり条例														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	100 %			委託	0 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	「快適で清潔なまち小牧」の実現を目指し、市・市民等及び事業者が、それぞれの役割の下、地域環境の保全及び美化の促進を図る。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容 ごみ散乱防止のための啓発や清掃活動、市民総ぐるみの地域美化活動を「小牧市快適で清潔なまちづくり協議会」とともに実施した。また、啓発用の看板の配布や、環境美化パトロール員を2班4名配置し、軽トラックで市内のパトロールを実施した。 特に、平成23年度は、不法投棄が頻発する場所を中心に、ナイトポリス立て看板を20基設置した。 【直接経費の内訳】 啓発用資材の配付、クリーンアップやパトロール活動の経費 需用費(1,917千円)うち、ナイトポリス立て看板 (135千円) 役務費(75千円)</p> <p>○24年度実施内容 ペット糞害防止啓発用として、ペット用携帯トイレを1万セット用意して飼い主へ配布する。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,614	2,033	1,993	2,981	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,063	1,063	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人	4.00	4.00	4.00	4.00
			人件費	千円	6,762	6,762	6,932	7,744
		費用合計	千円	10,439	9,858	9,988	11,788	
	対前年比	%			94.4	101.3	118.0	
財源	一般財源	千円	10,439	2,337	2,449	11,741		
	国・県支出金	千円	0	7,412	7,472	0		
	その他財源	千円	0	109	67	47		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	クリーンアップ事業実施回数	回	目標		1,900	1,900	1,900
実績				1,302	1,737	1,645	
パトロール員によるパトロール回数	日	目標		240	240	240	240
		実績		242	243	242	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
			クリーンアップ事業年間参加者数	人	目標	55,000	55,000
パトロール員によるゴミ回収量	kg	目標		35,000	35,000	35,000	35,000
		実績		46,750	45,770	33,660	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>ごみ散乱防止のための啓発や清掃活動、市民総ぐるみの地域美化活動を「小牧市快適で清潔なまちづくり協議会」とともに実施した結果、クリーンアップ事業年間参加者数が増加した。</p> <p>また、啓発用の看板の配布や、不法投棄防止用ナイトポリス立看板の設置、環境美化パトロール員による軽トラックでのパトロールと散乱ごみの収集を行った。クリーンアップ事業などの参加者が増加したため、パトロール員のごみ収集量が減少した。</p>
	事業実施における課題等	ごみ散乱防止の啓発や清掃活動、環境美化パトロール員によるパトロールを実施しているが、不法投棄されたごみは後を絶たない状態が続いている。
	事業を縮小・廃止したときの影響	事業を縮小や廃止すれば、益々不法投棄ごみが増えることになり市内の環境美化を図ることができない。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	ごみ散乱防止の啓発や清掃活動、環境美化パトロールの実施により、不法投棄の発生抑制や散乱ごみの収集を行い、市内の環境美化に努めているが、不法投棄は後を絶たない状態が続いているため、事業を継続する必要があると判断する。
	改善案等	パトロールは、不法投棄の多い地域、場所を中心に巡回し作業効率を高めるとともに、不法投棄抑制のための啓発活動を強化し、市民を中心とした清掃活動を活性化させる必要がある。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	啓発品の配布について、効果をよく検証し、必要に応じて見直しを行うこと。